倉敷第一中学校学校だより

新生 R2

校訓
自分をたいせつにする
他をたいせつにする
新しく生きる

No.9
令和２年６月１８日

授業時数確保　モジュール学習

昨年度末から続く新型コロナウイルス感染症の影響で、倉敷市内の小中学校の授業時数が不足することが心配されています。倉敷第一中学校では、そういった不測の事態に備え、今年度の教育課程の中に、年間 12 回の「モジュール学習」を計画していました。

「モジュール学習」は授業１単位時間５０分を 10 分ずつ５回に分けて、５日間で１教科の授業が１回終了した形で行う学習です。学年ごとに同じ教科を行うので、１回で各学年の学級数と同じ授業時間を確保できます。内容は、授業で扱っている内容のプリントが中心で、教科担任が点検し、学期末の評価に加えます。

今週で２回目になりますが、朝の会前の１０分間、校内がしーんと静まり、全校生徒が黙々とプリントの問題に取り組んでいます。土曜授業日の設定や夏休み短縮などもあって、必要時数は確保できそうです。

教育相談週間

６月 15 日から、今年度１回目の教育相談が始まっています。学校が再開して２週間。休み中の思いや、今の様子、これからの目標など、悩みだけでなく、広く心のケアをすることをねらって、担任が生徒全員と話をしています。

【授業中は廊下で】

【放課後は教室で】

恒例の靴箱そうじを頑張っています

倉敷第一中学校には伝統的な取組みがいくつかありますが、朝の靴箱そうじもその一つです。朝８時 20 分になると、各学級からほうきを持った生徒が一人ずつ来て、自分の学年の靴箱周辺を掃除します。最後に自分の学級の靴がきちんとそろっているか確認したら、学年の先生から OK が出ます。わずか５分間の取組みですが、きちんとした靴箱を見ると、心がとても穏やかになります。

給食の風景

給食を食べるときだけはマスクをはずしますが、机は全員前に向けたままで静かにあいさつ。

体力テスト

全学年の体育で体力テストを実施しています。コロナウイルスの影響はデータにも表れているでしょうか。